



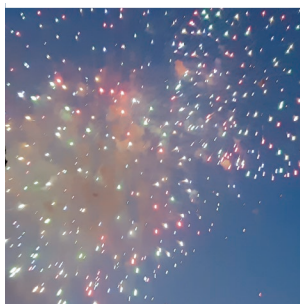
議会せきがはら

第190号



▲ 8月3日 関ヶ原町商工会夏祭り

8月3日 岡崎城下家康公夏祭り
第70回花火大会 ▶



- | | |
|------|------------------------------------|
| 2～4頁 | ◆令和6年度の補正予算を可決
総額1億2,214万4千円を追加 |
| 5～9頁 | ◆関ヶ原町のココを聞く！ 一般質問 |
| 10頁 | ◆委員会報告等 |

第3回 定例会

6月4日～14日

令和6年度一般会計補正予算(第2号) 総額1億2,214万4千円を追加

報告・承認	7件
条例	3件
予算	7件
その他	4件

条例関係

☆税条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律等に伴い、所要の改正を行うもの。

☆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所における満3歳以上の児童に係る保育士及び保育従事者の配置基準の見直しによる所要の改正を行うもの。

☆一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認

令和6年度分の所得税について、定額による所得税額の特別控除、いわゆる定額減税が施行されたことに伴うシステム改修等の関係経費128万7千円を追加したことの報告を受け、承認するもの。

☆水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分の承認

西町地内漏水の早急な修繕に伴う工事請負費等2,702万3千円を追加したことの報告を受け、承認するもの。

☆税条例の一部改正の専決処分の承認

地方税法の一部を改正する法律等に伴い、所要の改正を行ったことの報告を受け、承認するもの。

☆過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正の専決処分の承認

特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例対象期間の延長により所要の改正を行ったことの報告を受け、承認するもの。

☆公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和5年度公共下水道事業特別会計補正予算で定めた下水道の根幹的施設の建設に係る協定料の歳出予算の経費を令和6年度へ繰り越したため、繰越明許費繰越計算書により報告を受けるもの。

☆水道事業会計予算繰越計算書の報告

令和5年度水道事業会計予算で定めた工事請負費において半導体不足により年度内の機器の納入が見込めず、関連経費を令和6年度へ繰り越したため、繰越計算書により報告を受けるもの。

報告・承認

☆一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和5年度一般会計補正予算で定めた戸籍総合システム改修事業ほか6事業に係る歳出予算の経費を令和6年度へ繰り越したため、繰越明許費繰越計算書により報告を受けるもの。

☆水道法施行条例の一部改正

水道法の一部を改正する法律等に伴い、生活衛生関係行政の機能強化を目的に、水道法等による権限を厚生労働大臣から国土交通大臣及び環境大臣へ移管されることに伴い、所要の改正を行うもの。

予算関係

☆一般会計補正予算(第2号)

歳出は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した定額減税に伴う調整給付金事業6,009万5千円、及び低所得世帯等物価高騰対策支援給付金事業1,735万1千円、新型コロナウイルススワクチンの秋接種の予防接種事業関係費2,211万円など1億2,214万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を55億1,823万1千円とするもの。

☆国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

人事異動等に伴う人件費7万3千円、制度改正に伴う医療保険者向けの間接サービスに登録されているデータ確認に係るシステム改修費54万5千円、合わせて131万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億9,661万8千円とするもの。

☆国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)

人事異動等に伴う人件費関係337万2千円、修繕料61万4千円など、401万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億8,861万9千円とするもの。

☆介護保険特別会計補正予算(第1号)

人事異動等に伴う人件費関係78万2千円減額及び介護認定ソフトのバージョンアップへの更新に伴う調査票入力

ソフトの購入費13万2千円、合わせて65万円を減額し歳入歳出予算の総額を9億945万円とするもの。

☆介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

人事異動及び新規採用の介護福祉士3名並びに会計年度任用職員1人などの人件費関係534万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億6,184万3千円とするもの。

☆水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出において、人事に伴う人件費3万9千円を追加するもの。

☆農業集落排水事業会計補正予算(第1号)

収益的支出において、人事に伴う人件費5万9千円を追加し、収益的収入の他会計補助金5万9千円を追加するもの。

その他

☆工事請負契約の締結

次のとおり工事請負契約を締結するもの。

○契約の目的

道路改良(新関ヶ原診療所線ほか)工事

○契約の方法

指名競争入札

○契約の金額

5,115万円

○契約の相手方

岐阜県不破郡関ヶ原町大字関ヶ原2490番地の11

3

株式会社藤塚工務店

代表取締役 藤塚茂郎

☆町道の路線変更

六反田地内の開発行為完了に伴い、町道の終点を変更するもの。

○路線名

六反田1号線

変更前終点

関ヶ原町大字関ヶ原字六反

田2842番14地先

変更後終点

関ヶ原町大字関ヶ原字六反田2850番1地先

☆岐阜県後期高齢者医療広域連合の処理する事務及び規約の変更

行政手続きにおける個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律により、令和6年12月2日から被保険者証及び資格証明書の発行がなくなることに伴い、資格確認書等に変更するため、地方自治法第291条の11の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。





- ☆動産の買入れ
- 次のとおり、動産を買い入れるものとする。
- 買入物件
 - 一般X線撮影間接変換FPD装置
 - 契約の方法
 - 指名競争入札
 - 契約金額
 - 1,903万円
 - 契約の相手方
 - 岐阜県岐阜市金園町10丁目24番地
 - ホープ産業株式会社
 - 代表取締役 土川 東

令和6年度一般会計補正予算【第2号】主なもの

1億2,214万4千円を追加

歳入

・戸籍総合システム整備費補助金	117万7千円
・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金補助金	7,423万4千円
・子ども・子育て支援事業費補助金	108万9千円
・新型コロナウイルスワクチン接種生産体制等緊急整備補助金	1,411万円
・清流の国ぎふ森林・環境基金補助金	660万円
・関ヶ原古戦場整備活用事業費補助金	333万3千円
・前年度繰越金	2,160万1千円

歳出

・戸籍総合システム改修業務	117万7千円
・低所得世帯等物価高騰対策支援給付金事業	1,735万1千円
・定額減税調整給付金事業	6,009万5千円
・新型コロナウイルスワクチン接種事業	2,211万円
・里山林整備事業	660万円
・林道橋梁点検業務	111万円
・関ヶ原ナイト夜市運営管理業務事業	500万円

6月議会定例会の
傍聴者は
8名でした。

議会本会議の会議録は
ホームページで
ご覧になれます!

関ヶ原町議会

検索



関ヶ原町のココを聞く！ 一般質問

第3回議会定例会質問者

高木 博之 議員

北村 一磨 議員

田中由紀子 議員



高木 博之 議員

質問1 地元の企業や、産業のPRについて

問 地元産業のPRとして、役場の町民ホールで今須杉などの紹介がされ、歴史民俗学習館においては、地元企業が製造する製品を展示するなど紹介されている。行政として地元産業の発展や、町民の地元での就労を推進するためにも企業等のPRを今以上に積極的に行うべきと考えるが町長の考えを伺う。

答【地域振興課長】

歴史民俗学習館において町内の企業を紹介する展示を行っているほか、とりわけ中学生においては、職場体験の一環として町内企業を訪問し、

知る機会を設けているところ。ふるさと納税においては、町はもとより町の産業PRにつながるため、町内企業、地域が製造する製品や、町内で生産された農産物で作る食品等の特産品を返礼品にするなど取り組んでいる。

庁舎内においては、町民ホールに設置しているデジタルサイネージを活用して、町内企業の情報を発信できるよう検討を進めているほか、商工会とも連携し、町のホームページ上に企業紹介のポータルサイトのリンクを貼るなど全国にもPRしたいと考えている。更に、観光産業においては岐阜関ヶ原古戦場記念館がオープンしたことによる交流人口の増加に伴い、ビジネスチャンスとなっていると考え、現在の取組みをいっそう充実させるとともに、特産品の開発支援やPR活動の支援に努め、町民の地元での就労に繋がる、選ばれる町内企業の効果的なPRに努めたいと考え

る。

再質問

町内には、大リーグが開催されている球場で看板を出している企業や、グッドカンパニー賞を受賞された企業があるが、例えば、町内企業と野球選手がパートナーシップ契約を結ぶことで町のPRにつながるということも考えられるがこのような考え方についてどうか伺う。

答【町長】

いろいろな機会で企業が自社の宣伝活動をされており、利潤追求の姿勢というのは町としてもバックアップはしていきたいと思うが、直接関わっていくことについてはどうかと思っている。公共的な使命、町内企業の育成という面から町としてできる範囲でPRしていきたいが、方法などは今後検討する。

質問2 石碑などの安全対策について

問

今年起きた能登半島地震で石碑などの倒壊があった。石碑などは行政の所有物であると考え、安全対策についてはどうのように考えているか。

答【古戦場活用推進課長】

国史跡指定を受けた関ヶ原古戦場の9か所の史跡については、関ヶ原町によって史跡名称を示す標柱を設置しているが、文化財保護法等により、特別な事情がない限りは石造りとするものと定められており、石碑が建てられたものである。これまでも圍場整備や史跡整備に当たって標柱について移設をしたこともあるが、現状は標柱自体の自重により設置されている。

当史跡に限らず、全国的に検討が必要な課題でもあり、国史跡を所管する文化庁や県担当課とも相談しながら安全対策について検討したいと考える。



再質問

史跡地の石碑以外で、例えば石彫シンポジウムの石像が町内の様々な場所に設置されており、昨年度は名神関ヶ原インターチェンジ付近にあるモニュメントについて、耐震性の調査など行った上で移設した経緯があったと思うが、今後対策など考えているか。

答【町長】

石彫のモニュメントの設置場所は、人家がないところや公園内で、通常においては、人身に影響を与えることはありませんと考えます。

能登半島地震において、民家の倒壊、人命、財産、これに関する直接被害が大きかったことを考えると、住宅や道路近辺の施設・設備を重点的に取り扱うことを考える必要がある。

地震対策等を考えた時には優先する事項について十分検討を加えたうえで対応を順次図っていく必要があると考えます。



北村 一磨 議員

質問 1

子育て支援の充実と高齢化社会を生き抜くために

問

今年4月に民間組織の人口戦略会議は消滅可能性のある744の自治体を公表し2014年に公表された10年前と同様、その中にまた関ヶ原町も入っていたが、このことに關しての町長の所感は。また、子育て世代の親は、新しい子育て支援拠点施設の期待とあわせ、圧倒的に公園の要望が多く、今年2月の子ども議会においても、公園の質問があったところ。公園や緑地は、住民の安らぎや憩いの場、子供たちの遊び場など、快適な生活環境を形成するとともに、災害時には避難場所となる重

要な施設で、現在必要とされているのは、年齢や性別、文化、言語、障害の有無などにかかわらず、どんな人でも利用できるユニバーサルデザインを使用したインクルーシブ（包括的な）公園である。このような公園の建設を進めることで、子育て世代や高齢者が住みやすい環境が構築され、人口減少に歯止めをかけることが期待できるため、インクルーシブ公園が必要と考えるが、町長の見解は。

答【町長】

将来的に消滅の可能性が有る自治体に関ヶ原町が該当したことについて、改めて本町の最重要課題は人口減少問題への対応と捉え、今まで以上に緩和策として出生数や移住者の増加を促す取組、適応策として人口が減少しても持続的な地域を作る挑戦の双方向での施策展開を進めていく。全国町村会は、消滅の可能性があると自治体リストを公表することは、これまで

の地域の努力や取組に水を差すと批判しており、私もこの意見に賛同するもの。

人口減少、少子高齢化で子育て支援の重要性が増している昨今、子どもの貴重な遊び場である公園整備のニーズが高いことは十分承知しており、昨年度来、数か所の公園を視察し、規模、設備内容などを参考に、今年度の施策において、担当課に公園整備に向けて取組を強化し、具体的な場所、規模などを示すよう指示したところ。

整備を進めるに当たって誰一人取り残さないというSDGsの基本的な理念や、全てを包み込む、包含するという意味のインクルーシブといった概念を取り入れた共生社会の拠点としての公園という考え方も必要であると考えている。

子育て支援の充実と高齢化社会を生き抜くための各種施策は進めていくが、一方で財政状況を鑑み、事業の優先順位をつけることについてご理

解をいただきたい。いずれにしても公園整備に向けた取り組みを着実に進めていく。

再質問

インクルーシブ公園というのは、誰もが行きやすい場所でないといけないと考えている。先ほどの答弁で、具体的な場所や規模を示すよう指示されたということだが、それに関して候補地はあったのか。また、検討中であるのであれば、候補地について町長の考えがあるのか。

答【町長】

旧北小学校を解体し、一帯を整備する施策を県と共同で計画しようとしているが、これについては委員会をつくり、史跡に公園をつくることは是非についても課題にあげ検討していきたいと思っている。史跡地を外れたところしか使えないが、そこならいいという話がいただければ進めたいが、そぐわないということであれば別の場所になろうかと思っている。まだ場所を決め

ている状況ではない。

再々質問

北小の区域というのは考えられる場所かと思うが、やはり行きやすい場所という面では少し遠いので、ほかの場所も検討していただきたい。また、事業の優先順位をつけて考えていきたいということだが、インクルーシブ公園の整備は優先順位が高いと考える。今年度策定の総合戦略や、子ども・子育て支援事業計画に位置付けていただければ考えるがどうか。

答【町長】

先ほどの説明どおりで、その方向で検討を進めればと思っている。ただ、優先事項という段階では、公園よりも人命・財産等町民の生活に関わる部分について優先すると思っている。その順位付けについては、これからも配慮しながら検討する。



田中 由紀子 議員

質問1 児童公園の整備促進について

問

議会の一般質問で、初めて

公園整備を取り上げたのは2015年9月議会だが、陣野公園の遊具が撤去されるということをきっかけに新たな公園整備を求め、町長も前向きに答弁された。その後のグランドデザイン事業の規模が膨れ上がる中、公園整備の場所もなくなり、頓挫したまま現在に至っている。あれから10年近くになろうとしているが、財政的な問題や適地などで進んでいないのが現状。2021年6月議会では、古戦場記念館から笹尾山に向かう区間かどうかと、具体的な場

所も提案し、質問した際、時間を頂きたいとの答弁だった。あれから3年経過したが、公園整備は事実上後景においやられているのではないか。町の総合計画や過疎地域持続的

発展計画との関連もあると思うが、住民の要望が強いことや、観光事業にもメリットがあると思うので、前倒しをして取り組むべきではないかと考えるが町長の見解は。

答【町長】

人口減少、少子高齢化で子育て支援に重要性が増している昨今、子どもの貴重な遊び場である公園整備のニーズが高いのは十分承知しており、今年度の施策の取組において、担当課に公園整備に向けて取組を強化し、具体的な場所、規模などを示すように指示したところ。事実上後景に追いつたというのではなく、財政状況を鑑み、時期、場所、規模などを検討している。いずれにしても公園整備に向けて取組を着実に進めていく。

再質問

今年度、取組を強化するよう指示をしたというが、相当遅れている。子育て支援という点でも、非常に大事な施策で、後回しにしてはいけな課題だと思う。どれくらいの事業規模で、時期もどれくらいと考えているのか。また、これから新築することも園のミニ公園についてはどのようなになったのか。

答【町長】

遅れているとのことだが、10年前の財政状況を考えると今考えている規模の1割ぐらいの大きさで、各地域にある小公園程度でしか考えられない状況だった。現在は起債等が活用できる段階であり、規模を拡大して整備できるので、はということと考えを改め、昨年来から数か所の視察をした程度であるか、どのような内容があるのか、具体的に検討しようということで取組を進めている。財政状況、時代の背景等も考えながらやっ

ている。町の現状から考え、遅れているとは認識していない。何とか今もやることはないだろうかという思いの中で現実的に着手できるようにってきた。

笹尾山の公園整備の中でできればいいという思いはあるが、史跡指定地ということで、そぐわないという考えがどの程度あるのかわからない。専門家の意見をお伺いしながら整備にむけて検討していく。

観光面との共用となると笹尾山周辺にメリットがあると思っているが、子育てという面では、もっと近くで検討することも考えられる。どこから見て近いのか、誰からみて近いのか、車で利用する方はいが、徒歩で利用する方については、本当に近い方が便利だろうと思うので、そういったことも十分検討しながら場所の選定をしていかなければならない。

子育て支援の関係、人口対策という両面から進めていき

たいが、それぞれの計画についてどのように位置づけるかはすぐにはわからないのでその点はご理解頂きたい。

予算規模については、土地を購入すると多額の費用が必要で、遊具の整備に数千万円はかかる状況で、内容等についても、場所と同時に検討したいため、詳細な金額等については未定。

答【住民課長】

子育て支援拠点の中のミニ公園について、こども園と子育て支援センターの入り口付近に子育て広場という形で約100平米弱ぐらいの広さを予定しているが、子どもさん達を待つ場所、親さん同士が少し待ち時間等で話とかしていただく想定しており、遊具等の設置は考えていない。

再々質問

総合計画後期基本計画は令和5年度から令和9年度まで、公園の整備という記述は、住民のやすらぎ、憩いの場、子どもの遊び場等を確保するた

めに公園の整備を図りますという表現になっている。過疎地域持続的発展計画は令和3年度から令和7年度までの事業で、新たな整備というより今ある公園をきちんと管理していくという表現になっている。来年、新たにこの計画が立てられると思うが、時期についてその計画の中にきちんと位置付けるのか。

ミニ公園に遊具は置かないとのことだが、子育て支援拠点といえながら、中に入らなくてもフリーに遊びに行つてそこに行けば集えるというような拠点がない。ちよつと行つて、ちよつと遊ぶというそういう時間が小さい子には必要と考えるが、そんなに大きな遊具は置けないと思うが、もう一度考えてもらえないのか。

答【町長】

具体的にどこまで記述できるか今の段階では難しいが、できるだけスムーズに積極的に取り組めるような姿勢を示

したい。時期については、明記できないが、できるだけ早くと考える。

ミニ公園の遊具だが、今のところ計画はないが、ご指摘のこともあり、小さな子が一緒にいてきたときに、そのような人向けのかわいいミニ遊具的なものは設置できるかどうか検討させていただく。

2 質問 質問 出産・育児応援給付金の現金給付について

国の出産・子育て応援給付金事業について、運用は現金ではなくポイント給付となっており、県が設定したカタログサイトからネットで購入する方法である。便利である一方で使いづらいという声もある。安八町では、ポイントと現金とを選択できるとのこと。現金給付も選択肢に入れているだけないか。

答【副町長】

制度の開始当初は、運用の準備期間ということで現金給

付を行ってきた。昨年10月に岐阜県において、本事業に関するぎふっこギフトの運用体制が整備されたことから、この仕組みを活用し、応援ギフトにしたところ。現金給付においては、使用が制限されず、必ずしも子育て目的の消費に充てられないことも考えられ、消費ではなく貯蓄につながる可能性も考えられる。クーポン支給等では、地域での消費により活性化や新たな子育てに関するサービスの創出につながることから、制度の趣旨を踏まえ、引き続きクーポン支給等による支援を継続していく考えである。

再質問

アンケートによると、若い人はそれほど現金にこだわっていないが、30代40代になると現金のほうが使いやすいという結果が出ている。使い道は出産育児用品39.6%、生活費の補填24.4%、出産に係る医療費の補填22.7%で、約6割子育てに関連する使い

方をしている。また、貯蓄に回ることに関しても問題ないという認識を私は持っている。経済の活性化という点では、生活費と子育てとを分けること自体がおかしいし、生活そのものが子育てと一緒にある。若い世帯は給料が少ないので、祖父母の方が支援をしている。使う人が使いづらいとのことなので、使う人の声を生かしてあげなければ、本当に制度として、マイナスになると思うがどうか。

答【町長】

この事業は、国において子育て世帯の生活費に使うことを目的としているものではない。生活支援対策としては、別枠で生活困窮者対策として給付されており、子育てと出産に特定した支援事業であるということとは十分ご理解いただきたい。

支援対象者が支給された給付金を、妊娠出産育児関連用品の購入、レンタル費用助成サービス等をクーポン等で受

け取れ、国としても趣旨に沿

った形の利用を促進する観点
からの方法が望ましいとの
こと。生活費に使われるとい
うことは、趣旨に反すること
で、今現金化をして支給する
ということは考えてない。

町独自の支援として、子育て
て応援給付金1人目には10万
円、2人目には20万円、3人
目以降30万円の支給があり、
生活費に充てていただいて問
題ない。

再々質問

子育ては生活そのものである。
支援対象者からの使いづ
らいという声について、どう
答えるのか。

答【町長】

ほかにより便利な方法があ
れば、それに变えることは可
能だと思うが、今はこの方法
しかないと思っている。現金
化することで子育てとか出産
に使われないということが発
生してはならないというのが
この制度の趣旨なので、その
点には十分に留意しながら、

検討させていただきたい。

質問3 男性トイレにサニ タリーボックスを 設置することにつ いて

問

近年、男性も前立腺がんや、
膀胱がんなどの病気の影響で
尿漏れパッドを使う人や高齢
でパッドを使う人が増えてお
り、安心してトイレを使っ
てもらえるよう、公共施設の男
子トイレにサニタリーボック
スの設置を求めるがどうか。

答【総務課長】

現在、役場庁舎においては、
昨年からの男性トイレ個
室にサニタリーボックスを既
に設置している。ふれあいセ
ンターや中央公民館など、そ
の他の公共施設については、
多目的トイレに設置をしてい
る施設はあるが、男性トイレ
個室には設置が進んでいない
状況。今後は、各公共施設の
男性トイレ個室についても順
次設置を進め、安心してご利用
いただけるように努める。

議会活動日誌

【5月】

7日 関ヶ原小学校6年総合的な学
習「未来にはばたく関ヶ原」に
関わる講話

13日 揖斐川流域住民の生命と生活
を守る市町連合・西美濃地域
国道整備促進期成同盟会合同
総会

19日 災害ボランティアコーディネ
ーター関ヶ原総会

20日 西南濃町村議会議長会
修会

21日 全国町村議会議長・副議長研
修会

22日 第64回関ヶ原町商工会通常総
代会

24日 青色申告会通常総会
議会運営委員会

【6月】

1日 関ヶ原町青少年健全育成大会

3日 岐阜県町村議会議長会臨時総
会及び第1回評議員会

4日 第3回議会定例会初日

6日 第2回南濃衛生施設利用事務
組合議会臨時会

13日 シルバー人材センター定期総
会

14日 第3回議会定例会最終日

【7月】

19日 第1回関ヶ原町の国民健康保
険事業の運営に関する協議会

21日 第1回関ヶ原合戦祭り実行委
員会

26日 不破郡町長会・議長会交流会

27日 第2回不破消防組合議会臨時
会

3日 夏の交通安全推進協議会

4日 東海環状自動車道西回りル
ー建設促進大会

11日 主要地方道岐阜関ヶ原線道路
建設促進期成同盟会定期総会

16日 不破郡町村議会議長会視察研
修会

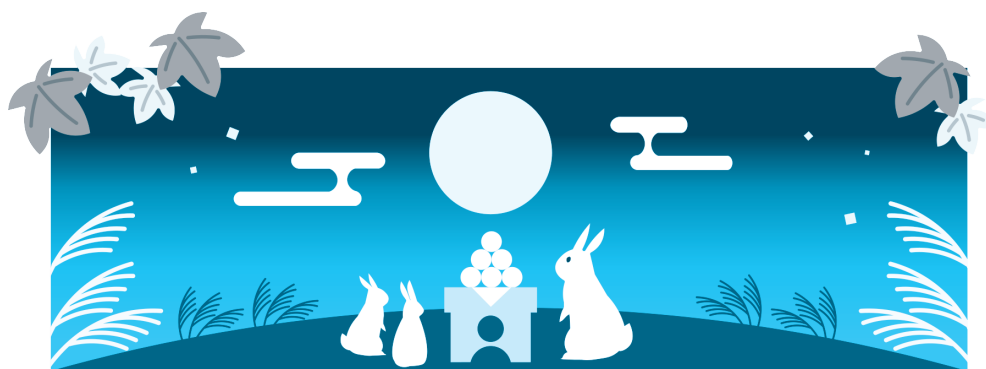
17日 茨城県議会議員行政視察受入

18日 日置市・関ヶ原町スポーツ少
年団親善交流使節団結団式・
壮行会

24日 第2回西南濃町村議会議長会
・交流会

29日～31日 西南濃町村議会議長会県外視
察研修会

30日 第1回国保関ヶ原診療所運営
委員会



谷口議長が 関ヶ原小学校で 講話を行いました

令和6年5月7日（火）、

谷口議長と難波議会議務局長が関ヶ原小学校6年の総合的な学習の時間「未来にはばたく関ヶ原」において、町議会についての講話を行いました。はじめに難波議会議務局長から、『町議会って何?』をテーマに、町議会議員のこと、本会議や委員会のことなど、議会の概要について説明がありました。

谷口議長からは、議員の仕事、議会の役割についての話があり、続いて『子ども議会』に向け、一般質問の仕組みについて詳しく解説がありました。その後は関ヶ原町の喫緊の課題である人口減少問題、町民体育館やこども園・中央公民館などの公共施設の老朽化対策について説明がありました。そして、関ヶ原町

の歴史や文化、自然豊かな環境を生かした『まちづくり』について、子ども議会で意見し、提案してほしいと述べられました。



最後に、谷口議長と難波議会議務局長への質問時間があり、多くの児童が積極的に挙手をし、質問してくれました。質問の中には、「スーパードライという面白い物をする場所の必要性を問う声もありました。今回の講話をきっかけに、来年2月開催予定の『子ども議会』を最終目標とし、6年生は総合的な学習の時間を中

心に調査・研究を進めていきます。関ヶ原町の未来を担う子どもたちの要望や提案には毎回、感心させられます。次回はどんな質問や提案が出てくるのか、今からとても楽しみです。



不破郡町村議会 議長会視察研修会 を行いました

7月16日（火）、不破郡町村議会議長会視察研修会を開



催し、関ヶ原町の古戦場や垂井町のワイワイプラザ垂井を視察しました。



委員会報告

全員協議会

4月30日

調整運営上の次の重要案件について協議した。

・太陽光パネルの設置事業について

・町民体育館の基礎について

議会運営委員会

5月24日

第3回町議会定例会の会期日程等について協議した後、総務課長から提出予定議案の説明を受け、質疑応答を行った。

9月定例会初日は

9月3日（火）

開催の予定です。

開催日は変更になる場合があります。その他の日程を含め、決まり次第ホームページでお知らせします。